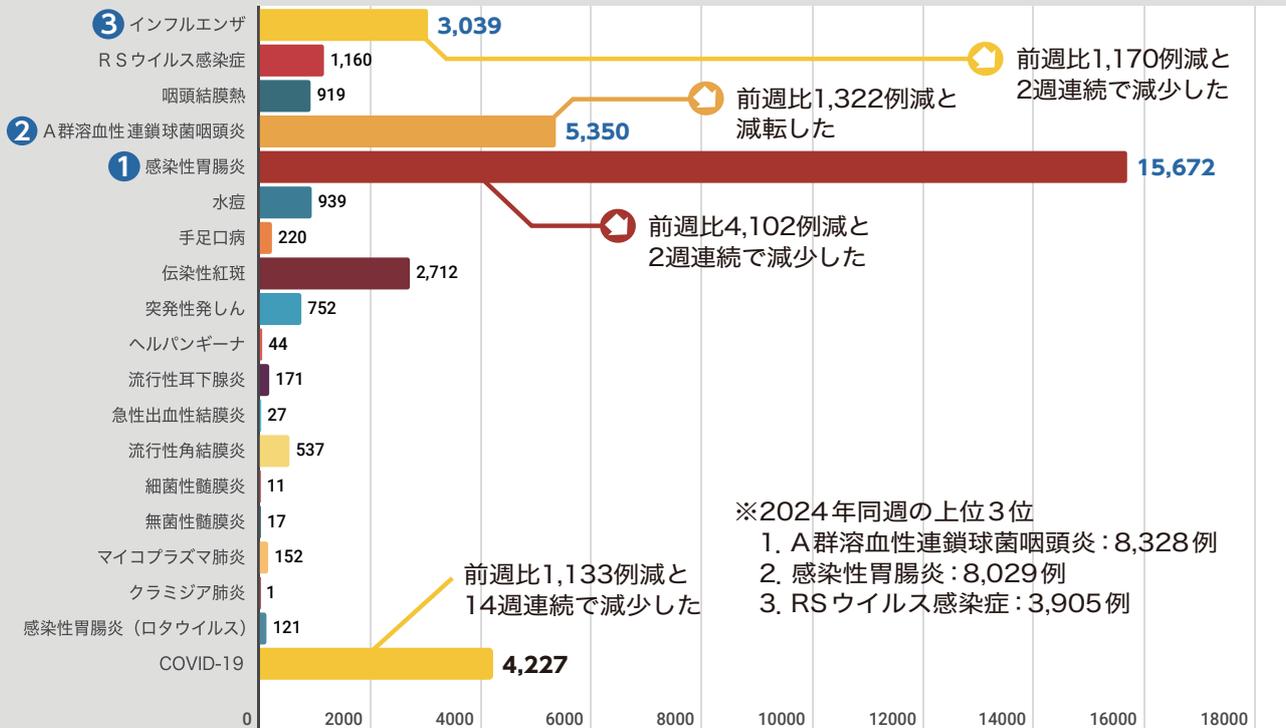




国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトが発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

胃腸炎、マイコプラズマ肺炎、伝染性紅斑に注意

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



※2024年同週の上位3位
 1. A群溶血性連鎖球菌咽頭炎: 8,328例
 2. 感染性胃腸炎: 8,029例
 3. RSウイルス感染症: 3,905例

(国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトのデータを基に編集部作成)

1 感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 1,699例
2. 大阪府: 1,511例
3. 兵庫県: 804例

定点当たりの報告数(6.71)

- | | | | |
|---------------|---------------|----------------|---------------|
| 1. 大分県: 13.39 | 4. 香川県: 11.19 | 7. 石川県: 10.97 | 10. 岡山県: 9.18 |
| 2. 山口県: 12.58 | 5. 宮崎県: 11.13 | 8. 鹿児島県: 10.16 | 11. 福岡県: 8.44 |
| 3. 愛媛県: 12.19 | 6. 岐阜県: 11.07 | 9. 島根県: 9.27 | 12. 福井県: 8.44 |

2 A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

1. 東京都: 768例
2. 埼玉県: 417例
3. 北海道: 393例

定点当たりの報告数(2.29)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 茨城県: 5.50 | 4. 富山県: 4.14 | 7. 栃木県: 3.52 | 10. 大分県: 3.08 |
| 2. 宮城県: 4.20 | 5. 埼玉県: 3.97 | 8. 佐賀県: 3.50 | 11. 新潟県: 3.07 |
| 3. 鳥取県: 4.16 | 6. 北海道: 3.97 | 9. 福島県: 3.36 | 12. 東京都: 2.95 |

3 インフルエンザ

報告数

1. 兵庫県: 239例
2. 東京都: 234例
3. 大阪府: 169例

定点当たりの報告数(0.79)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 沖縄県: 3.24 | 4. 福島県: 2.00 | 7. 長野県: 1.56 | 10. 青森県: 1.33 |
| 2. 秋田県: 2.62 | 5. 岩手県: 1.89 | 8. 兵庫県: 1.48 | 11. 鳥取県: 1.31 |
| 3. 香川県: 2.25 | 6. 山口県: 1.68 | 9. 佐賀県: 1.38 | 12. 新潟県: 1.16 |

今週の感染症動向

連休の影響か、報告数は全体的に減少傾向を示したが、昨年の同時期と比べると各感染症にさまざまな動きが見られた。感染性胃腸炎は、前週から4,000例超の大幅な減少となり、1万5,000例台になった。定点当たり報告数が警報レベル(20.00)を超える地域はなかったものの、大分県(13.39)、山口県(12.58)、愛媛県(12.19)をはじめ8県の定点は二桁台となっており、過去5年の同時期と比べてかなり多い状況だ。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は減転し、インフルエンザも2週連続で減少。COVID-19も14週連続で減少した。一方、マイコプラズマ肺炎は増加し、定点当たり報告数は0.32と例年に比べて多い傾向にあった。大流行した2016年の動向に近く、今後の推移を注視する必要がある。伝染性紅斑は前週から減少したものの、2,600～3,000例の間で推移しており、こちらも例年に比べてかなり多い状況が続いている。栃木県(4.48)、群馬県(3.72)、山形県(3.71)、北海道(3.10)をはじめ、10道県が警報レベル(2.00)を超えており、今後の感染拡大が懸念される。